



Topics

一般照明用蛍光灯の
製造・輸出入禁止

今回は一般照明用蛍光灯の製造・輸出入禁止についてですが、紙面の都合で文中の用語や詳細な説明については、参照先のURLのご案内とさせていただきます。ご容赦ください。

長年にわたって世界で広く使われてきた蛍光灯ですが、環境汚染や健康被害が懸念される水銀が含まれていることから、国際的な規制がすでに始まっています。日本でも、家庭や職場、工場などで使用されている一般照明用の蛍光灯※1は2027年末までに製造・輸出入禁止になります。

※1 「一般照明用」及び「特殊用途」の製品例については、一般社団法人日本照明工業会の資料をご参照ください。

https://www.jlma.or.jp/kankyo/suigin/docs/suigin_lamp_youto2024.pdf

製造の禁止措置について

水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)で定める「特定水銀使用製品」は、その製造及び部品として他の製品の製造に使用することが原則禁止されますが、2024年12月に一般照明用蛍光灯全てが特定水銀使用製品に指定されました。

<https://www.env.go.jp/chemi/tmms/law.html>

輸出入の禁止措置について

特定水銀使用製品の輸出入は、外国為替及び外国貿易法(外為法)に基づき規制されています。詳細については下記の経済産業省ホームページをご確認ください。

https://www.meti.go.jp/policy/external_economy/trade_control/02_exandim/08_minamata/

製造輸出入禁止の時期について

蛍光灯の種類により製造・輸出入の禁止時期は異なります。2026年1月以降、種類ごとに段階的に禁止になります。現在使用中の蛍光灯は引き続きご利用いただけるほか、蛍光灯の販売・購入は禁止されませんが、蛍光灯がいずれ使えなくなることを想定して、計画的なLED照明への切り替えを推奨しています。

蛍光灯の種類※2				
	電球形※3	コンパクト形	直管形※3	環形※3
製造・輸出入禁止の開始日	2026年1月1日	2027年1月1日	2028年1月1日	2028年1月1日

※2 蛍光灯は通称「蛍光灯」「蛍光管」とも呼ばれます。

※3 電球形蛍光灯のうち30Wを超えるものは2027年1月1日から禁止されます。

直管形蛍光灯及び環形蛍光灯のうちハロゲン酸塩を主成分とする蛍光体を用いたものは、2027年1月1日から禁止されます。

計画的にLED照明へ切り替えるための注意点

蛍光灯をLED照明に切り替える場合、①照明器具ごとと交換する方法と、②既設の照明器具のまま蛍光灯をLEDランプに交換する方法があります。後者②の場合には、不適切なランプ交換による事故が報告されているので、注意が必要です※4。照明器具の点灯方式に応じたLEDランプを選ぶ、取扱説明書の注意事項を確認して作業する、交換後に異常がないか確認するといった点を必ず守って作業してください。

※4 独立行政法人製品評価技術基盤機構による注意喚起。詳しくは同機構のホームページ(下記)をご参照ください。

<https://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/press/2024fv/prs250327.html>

出典:環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/chemi/tmms/lamp.html>

Series

前進あるのみ！(1)



サイクルーズ取締役、トライシクル代表
山田 晃一

今回から数回にわたり、このコーナーを担当させていただくことになりました。

実は私は転職前、東港金属のホームページで「羅針盤」を第1回から一気に読んだことがあります。2010年3月から継続して発刊されていることにも驚きましたが、それ以上に「なんて個性的な人たちが集まる会社なんだろう」と感じたことをよく覚えています。入社後は、「いつか声がかからないかな」と勝手に楽しみにしていました。そしていざその順番が回ってくると、「何を書くか」と悩んでしましますが、折角の機会ですので、この連載では私自身の「羅針盤」、つまり人生や仕事で大切にしている考え方についてお話ししたいと思います。尚、タイトルは最も大事にしている言葉で「前進あるのみ！」といたします。

その第1回のテーマは、「自分のルーツを尊敬し、誇れる自分でありたい」です。

この考えを強く意識するようになったのは、前職でエジプト・ヨルダンやインドに駐在していた頃でした。異なる文化や価値観を持つ人たちと生活・仕事をする中で、「お前は何者なんだ？」という問いを何度も突き付けられました。特に交渉の場では肩書や会社名よりも、その人自身が問われるので、自分のことをどう説明するか、先ずは信頼してもらえるように、理解してもらうことに必死でした。



2011年のクーデター直後に、今が観光客 自分のルーツを考えようと思ったきっかけと
もいなくてチャンスだ!! と思いピラ ミッド なった、シリア人家庭教師との時間
を一人占め(怖いもの無しの時代)

日本人として生まれ、神奈川県で育ち、多くの人たちから受け継がれた命の上に今の自分がいる。そのルーツをもっと知りたいと思い、両親や親族に話を聞き始めました。

もともと父方には(日本地図を初めて作った!)伊能忠敬につながる系譜があることや、祖父が事業を営み公共事業にも尽力していたことは聞いていました。しかし調べてみると、それ以外にも様々な人生がありました。製油所で工場長として労使問題に向き合った人、生糸工場をまとめていた人、鍛造加工業を営み東京タワー建設に関わった人。さらに身近なところでは、母が目の見えない人の為に点字の指導に携わっていた時期もあったということもありました。自分が実業にこだわりたいと思っていることや、新しいビジネスを作りたいと思っているのはこういうところから来るのかなと思ったりもします。ルーツそのものが羅針盤というわけではありません。しかし、自分を知り、時として自ら切り拓くためには、勇気が必要な時があり、そういつたときに良いことも悪いことも含めて先人のチャレンジを知っておくことは、私を支えるお守りです。

いざ、前進あるのみ！

Cyclers Topics !

分別困難な廃棄物の適正処分:三立処理工業の強みです。

三立処理工業では液状の産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬と積替え保管を主軸としていますが、排出現場で課題となる処分方法が不明な廃棄物、分別が難しい処理困難残置物の処分も得意としています。

事務所移転や、倉庫整理、解体現場に残された、写真のような廃棄物。写真と品目リストをいただければ、わかりやすい見積もりと、必要な契約やマニフェスト記入事項のご案内をして、回収をしています。例えば、「混ぜる危険」と記載のある洗剤は廃酸・廃アルカリとして、トナーなどは汚泥として適正処分ができるよう回収後事業所で検品/表示をし、適正処理を行っている処分場に運搬します。「さて、どうしよう?」と迷ったら、三立処理工業にお任せください。次回は引き続き三立処理工業の強み モーダルシフトについて掲載します。

